

安全科学研究部門講演会

2030年を見据えた 安全科学研究

近年、カーボンニュートラル、循環経済、Society 5.0の実現やその2030年達成目標に向けて、新規技術の開発や社会実装が加速するなど、大きく産業構造が変化しつつあり、それに伴い安全科学研究に関するニーズも変化していると考えられます。今年度は、私たちの最新の研究成果を紹介するとともに、基調講演やご来場者への事前アンケート、パネルディスカッションを通じて、広く外部の方とのコミュニケーションを図り、変わる社会ニーズに応え、私たちの研究成果を事業者・行政でより広く活用して頂くための道筋をさぐりたいと考えています。

日時 2月7日(水)
13:30 - 17:10
(受付13:00 -)

会場 産総研
臨海副都心センター
別館11階 会議室
(東京都江東区青海 2-4-7)

開催方法 現地開催(定員200名)
オンライン配信(一方向のみ)

プログラム

- 13:30 開会挨拶
小原 春彦(産総研 上級執行役員/エネルギー・環境領域長)
- 13:35 趣旨説明・部門の紹介
玄地 裕(安全科学研究部門 研究部門長)
- 13:45 基調講演
「Safety & Sustainabilityのグローバル規制制度の潮流と課題」
藤井 健吉氏(花王研究戦略・企画部部长、安全科学研究部門アドバイザー)
- 14:15 講演 1
「次世代冷媒の漏洩着火事故フィジカルハザード評価」
椎名 拓海(安全科学研究部門 爆発利用・産業保安研究グループ)
- 14:40 講演 2
「脱炭素・窒素循環社会実現に向けたLCAと化学物質リスク評価」
秦 寛夫(安全科学研究部門 環境暴露モデリンググループ)
- 15:05 講演 3
「化学物質の生態リスク評価にもっと“生物多様性”を」
岩崎 雄一(安全科学研究部門 リスク評価戦略グループ)
- 15:30 休憩
- 15:50 パネルディスカッション
「変わる社会ニーズに応える安全科学研究」
モデレータ: 蒲生 昌志(安全科学研究部門 副研究部門長)
- 17:00 閉会挨拶
田原 聖隆(安全科学研究部門 総括研究主幹)

主催：国立研究開発法人産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域
安全科学研究部門

共催：産業技術連携推進会議 環境・エネルギー部会

連絡先

産総研安全科学研究部門 講演会事務局

E-mail: riss-info-ml@aist.go.jp

参加費 無料

参加申込

下記ホームページの参加フォームより
お申し込みください。

<https://riss.aist.go.jp/symposium2024/>

申込締切 令和6年1月26日(金)

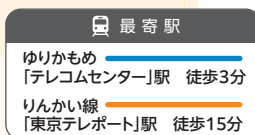
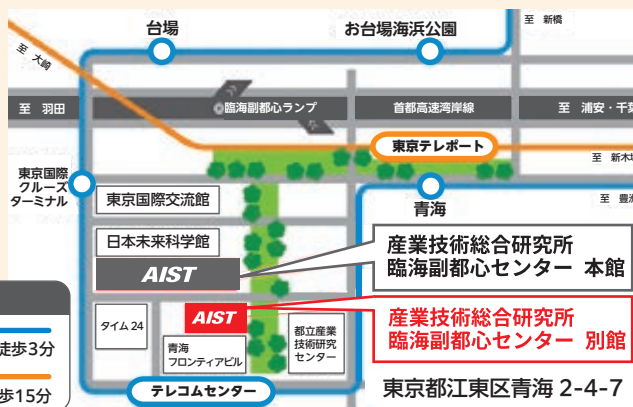


※現地参加につきましては、定員200名に達し次第、
締め切らせていただきます。

※当日はお名刺をもって名札とさせていただきます。お
名刺をご持参ください。

※後日、安全科学研究に関わる社会ニーズについて、
アンケートをお願いさせていただく予定です。
パネルディスカッションでは、変わる社会ニーズに応える
安全科学研究部門の研究の方向性について議論する
予定です。

参加登録していただいた方には、アンケートの準備が
整い次第、ご連絡させていただきます。



東京都江東区青海 2-4-7